



なす太郎のポイント指南

今月は

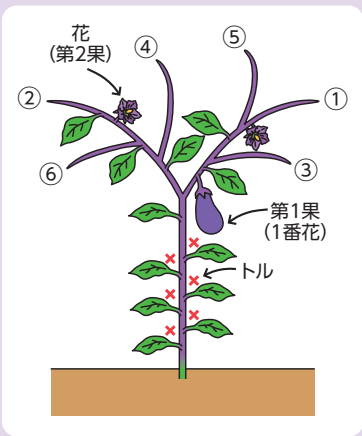
主枝の決定、 整枝・剪定です

主枝の決定

主枝の側枝が伸びてきたら、伸ばす枝①〜④を決め、それ以外の側枝は早めに取り除きます。

- ① 主枝(第1主枝)
- ② 1番花直下の側枝(第2主枝)
- ③ ①から伸ばした側枝(第3主枝)
- ④ ②から伸ばした側枝(第4側枝)

※株間が広めなら⑤⑥の側枝を伸ばして6本仕立てにしても良いでしょう。



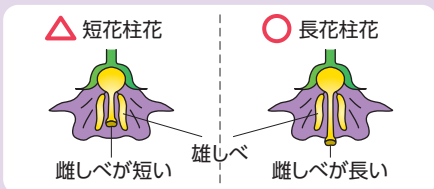
誘引はなぜ必要か？

良品栽培のためには、風に揺られて果実に傷がついたり、根の張りに影響しないように誘引をしっかりと行うことが大切です。誘引ネットや誘引紐に主枝・側枝を誘引テープ、紐等でしっかりと止めます。出荷農家では畑の周りに防風ネットを張り、防風対策も行います。6月号で紹介した方法などで行ってみてください。

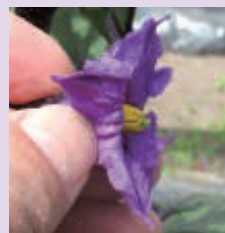


良い花の見分け方

長花柱花^{ながはなちゅうか}⇨雌しべ(花柱)が雄しべよりも長く突き出ている花が正常です。花をよく観察してみてください。

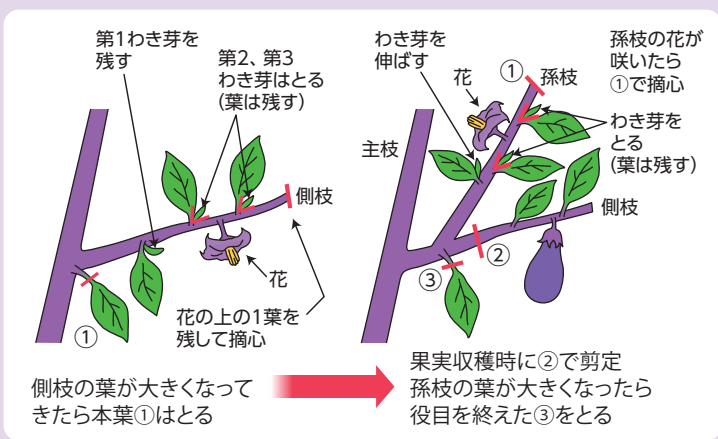


状態の場合は栄養不足、日照不足、高温などの影響で樹勢が弱っています。即効性のある追肥が必要と考えましょう。



整枝・剪定

なすは生育旺盛です。左図のように整枝・剪定を行うことで余分な



梅雨時期の追肥

枝葉を取り除き、日当たりをよくし、良質な果実の成長を促します。秋までこの整枝・剪定を繰り返し行います。

梅雨時期で降雨がある日は、過湿になると病気の発生や助長が心配されるため、灌水を控えます。しかし、実を成長させるのに追肥が必要な時期ですので、畝の肩の部分のマルチに穴をあけて粒状化成を施します。

また、樹勢が弱っている場合は葉面散布を施します。葉面散布とは、専用の液肥を霧吹きなどで葉や生長点(新しい芽)に吹きかける方法です。

*初期(5月)の管理の振り返り

出荷農家にとっては、初期から収量を確保することが重要です。定植後の初期に朝晩の寒さで生育が遅れ気味の時は、まだ根が十分に発達していないので葉面散布で活力を与える方法があります。